

第1問 仕訳1組につき4点、計20点

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
問1	減 価 償 却 費	54,000	減価償却累計額	54,000	① $(500,000 - 392,000) \times 0.4 = 43,200$ 円 ② 54,000 円 (償却保証額) ① < ②
問2	横 浜 支 店	800	大 阪 支 店	800	
問3	建 設 仮 勘 定	4,800	当 座 預 金	4,800	
問4	減価償却累計額	125,000	建 物	500,000	(500,000 円 - 125,000 円) $\times 0.25 = 93,750$ 円
	減 価 償 却 費	93,750			
	火 災 未 決 算	281,250			
問5	貸 付 金	2,800	現 金	2,800	貸付金や借入金については、電子記録債権勘定に振り替えない。

第2問 仕訳1組につき4点+ () が4点、計20点

銀行勘定調整表 (両者区分調整法) (単位: 円)

当座預金勘定残高	3,800	残高証明書残高	4,000
(加算)		(加算)	
未渡小切手	700	時間外預入	900
(減算)		(減算)	
誤記入	<u>400</u>	未取付小切手	<u>800</u>
	<u>(4,100)</u>		<u>4,100</u>

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	仕訳不要			
2	仕訳不要			
3	当 座 預 金	700	未 払 金	700
4	買 掛 金	400	当 座 預 金	400

第3問 () 1つにつき2点、計20点

損 益 計 算 書

I	売上高		
1	総売上高	200,000	
2	売上割戻引当金繰入	6,000	(194,000)
II	売上原価		
1	期首商品棚卸高	6,000	
2	当期商品仕入高	70,000	
	合 計	76,000	
3	期末商品棚卸高	15,000	
	差 引	61,000	
4	商品評価損	(2,600)	63,600
	売上総利益		(130,400)
III	販売費及び一般管理費		
1	給料	50,000	
2	水道光熱費	10,000	
3	貸倒引当金繰入	(600)	
4	減価償却費	(9,000)	
5	支払保険料	8,000	
6	棚卸減耗損	(2,000)	79,600
	営業利益		50,800
IV	営業外収益		
1	仕入割引	2,000	
2	有価証券評価益	(1,000)	3,000
V	営業外費用		
1	貸倒引当金繰入	(200)	
2	手形売却損	800	
3	支払利息	20,000	21,000
	経常利益		(32,800)
VI	特別利益		
1	固定資産売却益		20,000
VII	特別損失		
1	火災損失		30,000
	税引前当期純利益		(22,800)
	法人税、住民税及び事業税		6,840
	当期純利益		15,960

【決算整理仕訳等】

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	当 座 預 金	19,200	受 取 手 形	20,000
	手 形 売 却 損	800		
2	買 掛 金	12,000	仕 入 割 引	2,000
			当 座 預 金	10,000
3	貸 倒 引 当 金 繰 入	800	貸 倒 引 当 金	800

(30,000円 + 60,000円 - 20,000円) × 2% - 800円 → 販売費及び一般管理費
20,000円 × 2% - 200円 → 営業外費用



4	仕 入	6,000	繰 越 商 品	6,000	$(150\text{個} - 130\text{個}) \times 100\text{円} = \text{棚卸減耗損}$ $(100\text{円} - 80\text{円}) \times 130\text{個} = \text{商品評価損}$
	繰 越 商 品	15,000	仕 入	15,000	
	棚 卸 減 耗 損	2,000	繰 越 商 品	4,600	
	商 品 評 価 損	2,600			
	仕 入	2,600	商 品 評 価 損	2,600	
5	減 価 償 却 費	9,000	減 価 償 却 累 計 額	9,000	$180,000\text{円} \div 20\text{年}$
6	売上割戻引当金繰入	6,000	売上割戻引当金	6,000	$200,000\text{円} \times 3\%$
7	前 払 保 険 料	4,000	支 払 保 険 料	4,000	$12,000\text{円} \times 4\text{ヵ月} \div 12\text{ヵ月}$
8	売買目的有価証券	1,000	有価証券評価益	1,000	
9	法 人 税 等	6,840	未 払 法 人 税 等	6,840	

第4問 仕訳1組につき4点、計20点

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
問1	材 料	120,000	本 社	120,000	
問2	仕 掛 品	1,000,000	賃 金	1,110,000	直接労務費 $1,000\text{円} \times 1,000\text{時間}$ 間接労務費 $1,000\text{円} \times (100\text{時間} + 10\text{時間})$
	製 造 間 接 費	110,000			
問3	製 造 間 接 費	80,000	本 社	80,000	
問4	仕 掛 品	280,000	製 造 間 接 費	280,000	
問5	本 社	480,000	仕 掛 品	480,000	

第5問 () 1つにつき4点、計20点

問1	固定製造間接費の標準配賦率=500円/時間	問2	当月の標準配賦額=(7,740,000)円
問3	製造間接費総差異=(260,000)円 不利差異 予算差異=(140,000)円 不利差異		
	能率差異=(180,000)円 有利差異 操業度差異=(300,000)円 不利差異		

1. 固定製造間接費の標準配賦率

$4,500,000\text{円}(\text{予算}) \div 9,000\text{時間}(\text{正常作業時間}) = 500\text{円/時間}$

変動費率=900円-500円=400円

2. 当月の標準配賦額

$1,800\text{円}(\text{※1}) \div 4,300\text{個}(\text{※2}) = 7,740,000\text{円}$

※1 900円(標準配賦率)×2時間(標準直接作業時間)

※2 $400\text{個} \times 50\% + 4,400\text{個} - 600\text{個} \times 50\% = 4,300\text{個}$

3. 差異

(1) 製造間接費総差異

$900\text{円}(\text{標準配賦率}) \times 8,600\text{時間}(\text{標準操業度}) - 8,000,000\text{円} = \triangle 260,000\text{円}(\text{不利差異})$

(2) 予算差異

$400\text{円}(\text{変動費}) \times 8,400\text{時間}(\text{実際}) + 4,500,000\text{円} - 8,000,000\text{円} = \triangle 140,000\text{円}(\text{不利差異})$

(3) 能率差異

$900\text{円} \times (8,600\text{時間} - 8,400\text{時間}) = 180,000(\text{有利差異})$

(4) 操業度差異

$500\text{円}(\text{固定費}) \times (8,400\text{時間} - 9,000\text{時間}) = \triangle 300,000\text{円}(\text{不利差異})$